

船舶事故調査報告書

平成22年11月11日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成22年4月3日（土） 10時20分ごろ
発生場所	和歌山県白浜町畠島北岸 神楽島南方灯標から真方位205° 1,330m付近 （概位 北緯33° 41.8′ 東経135° 21.8′）
事故調査の経過	平成22年4月23日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート ^{リバティウェイ} LibertyWay、5トン未満 253-13310和歌山、個人所有 5.70m (Lr) × 2.14m × 1.03m、FRP ガソリン機関、58kW、平成21年10月28日（新規登録）
乗組員等に関する情報	船長 男性 41歳 二級小型船舶操縦士 免許登録日 平成21年12月28日 免許証交付日 平成21年12月28日 （平成26年12月27日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	船底に擦過傷
事故の経過	本船は、船長及び同乗者1人が乗船し、畠島の北方で錨泊して釣りを開始した。 しばらくしたころ、急に風が強まり、本船は走錨し始めた。 本船は、帰航しようとして、船長が揚錨作業を行っていたところ、強風に圧流され、平成22年4月3日10時20分ごろ、釣り場近くの岩場に乗り揚げた。 船長及び同乗者は、事態に気付いて接近した漁船に救助され、乗り揚げた船体は、夕刻の満潮期を待って船長の知人の漁船に引き下ろされ、えい航されて帰港した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 6～7、視界 良好 海象：波浪 1m、うねり なし
その他の事項	釣り場の水深は、約10mであり、アンカーロープの長さは約20m、アンカーの重さは約7～8kgであった。 走錨した距離は、約20～30mであった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、畠島北方で錨泊中、強風により走錨し、釣り場近くの岩場に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、畠島北方で錨泊して魚釣り中、風が強くなって走錨したため、釣り場近くの岩場に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	